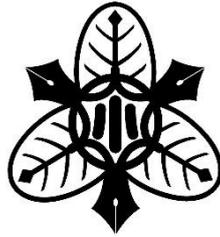


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和6年9月30日 第6号

文責： 校長 井 正成

暑かった9月でしたが、多くの方の協力により充実した学びができました

9月も下旬になってようやく涼しくなりましたが、今年は、例年になく残暑が厳しい9月でした。そんな中でも、子供たちは、休み時間に元気に外で遊んだり、学習にも一生懸命取り組んだりしていて、2学期の学校生活のリズムにも慣れてきたようです。

9月は、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、様々な体験活動を行うことができました。子供たちからは、体験を通して生き生きとした笑顔が見られたり、素直なつぶやきが聞かれました。

昨今は生活環境の変化から、子供たちが人や自然とふれあう機会が減ってきています。このような体験活動はリスクを伴う面もありますが、子供たちに豊かな心を育む貴重な機会となります。

本校は、地域の方の協力もあって、豊かな体験活動を子供たちに経験させてあげることができる環境にあります。これは、子供たちにとって、とても幸せなことだと思います。

「地域体験活動」お世話になりました

9月7日（土）に実施した「地域体験活動」では、PTAの各地区長様には大変お世話になりました。また、お世話いただいた保護者の皆様に対してもお礼申し上げます。子供たちは、地域の方からいろんなことを教えていただきながら、また地域の方と交流しながら、笑顔で楽しく活動していました。地域体験活動を通して、子供たちは地域の人・もの・ことよさを知る機会になったと思います。また、人と人のつながりも深まったのではないかと思います。今後、地域の中で子供たちを見守り、育てていただければと思います。

5年生が「稲刈り」を行いました

5年生は、社会科で日本の米作りについて学習しています。日本の主食である身近な米について体験を通して学ぶことは子供たちにとって貴重な機会となります。本校は毎年、〇〇様に、田んぼを貸していただくとともに、米作りについて教えていただいています。今年も子供たちが田植え、草取りに関わった田んぼの稲が立派に実り、9月18日（水）に稲刈りの体験をさせていただきました。当日は、内牧1区の新町クラブの皆様にもご協力いただき、自分たちが植えた稲を、鎌で丁寧に刈り取りました。また、稲刈り後に大型コンバインによる脱穀まで体験させていただきました。

5年生は、今年、〇〇様にご協力いただき、バケツ稲作りにも挑戦しました。この稲も立派に実り、玄関前にかけて干しをしています。

4年生が草原学習を行いました

阿蘇の草原は千年以上も昔から野焼きや放牧などの農業の営みにより維持されてきました。2013年には、阿蘇の草原は世界農業遺産に認定されました。

4年生は毎年、この阿蘇の草原について学んでおり、その学習の一環として、9月20日（金）に、北外輪山の草原で「草泊まり作り」「乗馬体験」「草原観察」の3つの体験活動を行いました。

「草泊まり作り」では、内牧1区の新町クラブの皆さんにご指導いただきながら、竹で骨組みを作り、茅をかぶせて「草泊まり」を6基完成させました。「草泊まり」に入った子供たちからは「思ったより涼しい」などという感想が聞かれました。

「乗馬体験」は〇〇さんご夫妻のご指導のもと、馬とふれあったり乗馬を体験したりしました。初めて間近で見る馬の勇壮な姿や、乗馬したときの目線の高さに「怖い」と感じる子供たちもいましたが、温厚で人の指示に忠実に従ってくれる馬の背に乗って、阿蘇の草原を散策しました。子供たちからは、「楽しかった」「また乗ってみたい」という感想が聞かれました。

「草原観察」では〇〇さんから、阿蘇の草原に棲む希少な植物や昆虫、草原における食物連鎖などについて散策しながら教えていただきました。

学校教育目標に「ふるさとを誇りとし」という言葉があります。自分たちが生活している阿蘇の大自然のすばらしさを知ることは、自分や地域に誇りを持つことにもつながるものと思います。

最後になりますが、準備にご協力いただいた4年生の保護者の皆様、ありがとうございました。